

オーケストラの演奏を体感 移動音楽教室



迫力ある演奏で魅了したオーケストラ

午前中の小学生の部では、曲調に合わせて手をたたいたり体を揺らしたりしてオーケストラの演奏を体感し、指揮者のように手を振る児童もいました。

児童からは「音楽を体で感じる事ができた」「聞いていて心地良かった」「あっという間に感じ、演奏が終わってほしくなかった」など、迫力ある生演奏に感動の声が次々と上がりました。

公益財団法人群馬交響楽団の「移動音楽教室」が5月19日、町文化会館で開催されました。同教室は昭和22年に始まり、音楽と触れ合う感動や楽しさを多くの児童生徒に伝えることを目的に、3年に1度開かれています。

演奏は午前と午後の2部構成で行われ、町内の小学生（4・5・6年）、中学生、教員など約600人がオーケストラによるクラシック音楽を鑑賞しました。



曲に合わせて手をたたく児童

稲含神社 春季例大祭・山開き



町の最高峰「稲含山」の山腹に位置する稲含神社で5月3日、春季例大祭が行われ五穀豊穡や家内安全を祈願し太々神楽が奉納されました。

晴天に恵まれたこの日は稲含山が山開きを迎え、多くの登山客が山頂で360度見渡せる壮大な景色を楽しみました。

春の叙勲 栄えある受章おめでとうございます



各分野の功労者に贈られる「春の叙勲」が発表され、織田澤俊幸さん(天引)が旭日双光章【地方自治功労】を受章しました。

人生の大半を政治とともに歩んだ織田澤さんは、大学卒業後、元首相の小淵恵三氏の秘書や町の助役を経て、平成15年に県議会議員選挙で初当選。4期16年の在職中には県議会議長などの要職に就き、「ぐんま緑の県民税」の導入など長年にわたり地方自治発展のために尽力されました。

織田澤さんは「甘楽町の皆さんには特別にお世話になり、地元の皆さんの後押しのおかげで議長にまでなれました。大変感謝しています」と受章の喜びを話されました。

群馬県ふるさと伝統工芸士に認定 布施さん

篠笛楽遂工房の「甘楽篠笛」が、地域に根付き受け継がれる「群馬県ふるさと伝統工芸品」として指定され、その制作に従事し高度な伝統技術・技法を保持する者として布施一好さん(小幡)が「群馬県ふるさと伝統工芸士」として認定されました。

篠竹を刈るところから完成までの工程を自ら手作業で行う布施さんは「一つとして同じ物は作れず、難しいけれども楽しい作業でもあります。今後も長く人に愛され納得できる物を作り、さらに多くの人々に篠笛を広めていきたい」と創作への意気込みを語られました。



造石ほほえみサロン 講演会を開催



造石ほほえみサロン(中村精一会長・旧おたっしや会)は4月18日、造石公会堂で講師に今井規雄さん(第27区長・元甘楽町立第一中学校校長)を迎え、長寿会と合同の講演会を開催しました。

「日本近代化の礎 座繰り製糸」と題した講演で、日本の製糸業の歴史や甘楽富岡地域の養蚕の歩みを交えながら、繭から糸を取る「座繰り」について語られました。

講演終了後、除村和子さんの指導による座繰り体験が行われ参加者からは「昔、親の世代が座繰りをしていたのは見ていたが、自分でやってみたのは初めてで、とても良い経験になった」との声が聞かれました。

→座繰りは、座って操糸を行う方法のことで右手で繭の入った鍋をかき混ぜ糸をたぐり、左手で歯車を回し糸枠に糸を巻き取ります。



新屋イーグルス 4 連覇

町春季少年野球大会



第44回町春季少年野球大会が5月4・7・8日に甘楽野球場で開かれ、新屋イーグルス(井澤将勝監督・野口 祐主将)が優勝しました。大会結果、個人賞は次のとおりです。(敬称略)

- 優勝…新屋イーグルス(左写真)
- 準優勝…福島ガッツ
- 第3位…小幡ロイヤル
- 最優秀選手賞…岡部煌将(新屋イーグルス)
- 殊勲賞……………井澤虎太郎(新屋イーグルス)
- 敢闘賞……………伊藤颯汰(福島ガッツ)
- 敢闘賞……………有井優真(小幡ロイヤル)

あすなるジュニア 県新人大会で3位入賞

4月10日と17日に第41回群馬県小学生バレーボール新人大会が新里社会体育館(桐生市)ほかで行われ、あすなるジュニア(池田多春監督)が5年ぶりに入賞を果たしました。

あすなるジュニアは、6チームによる1次予選を1位通過し、各組代表6チームによる優勝決定戦に進出。初優勝を目指して奮闘しましたが、惜しくも第3位となりました。植松 結希歩主将は「コロナで練習ができない中、どこまでできるか心配でしたが、3位に入れて良かったです。次の大会も上位を目指して頑張ります」と話しました。



県大会で3位入賞 森平さん関東・全国へ



伊勢崎フレンズの安田海歌さん(右)とペアを組む森平さん

群馬県小学生ソフトテニス選手権大会が5月1日に前橋総合運動公園テニスコートで開かれました。

甘楽町ジュニアソフトテニスクラブ(外所淳也代表)の森平 莉万理さん(新屋小・6年)が3位になり、関東大会(7月2～3日神奈川県小田原市)、さらに全国大会(7月28～31日秋田県大館市)への出場を決めました。

森平さんは「3位に入賞できて良かったです。全国大会で良い成績が残せるよう日々の練習を頑張ります」と話しました。

プロ野球OBが指導 野球の魅力伝える



参加者の声

●小幡ロイヤル・田村瑛志さん

たくさんの方を教えてもらい、それらを試合でも生かしていきたい。

●福島ガッツ・新井遥人さん

普段の練習では学べないことを教えてもらい、とても良かった。

●新屋イーグルス・黒澤 瞬さん

投げる時の足の踏み出し方を教えてもらい、教え方がとても分かりやすかった。

日本プロ野球OBクラブ(全国野球振興会)主催の「第28回セノン全国少年少女野球教室」が5月14日、甘楽野球場で開催されました。

町内3チームを含む甘楽富岡地区7チームの小学生約90人が参加し、種部儀康たねべのりやす代表講師のほか8人の元プロ野球選手が指導に当たりました。

参加者はキャッチボールや守備、打撃の基本動作を学び、笑顔で白球を追いかける姿が印象的でした。また、元プロ選手の力強いバッティングで打球が外野フェンスを越えると大きな歓声が上がりました。

技術の向上だけでなく野球を楽しむことも学んだ教室となりました。



羊が衣替え

甘楽ふるさと農園管理組合(吉田恭一組合長)と町職員、町と産学連携協定を締結している富岡実業高校・生物生産科の9人が5月16日、同農園内の上野ひつじ公園で羊の毛刈りを行いました。羊たちも夏の装いになりました。



かんらちゃん登場

かんらちゃんが端午の節句に合わせて「めんたいパーク群馬」に登場しました。

観光客に「かんらの天水」やパンフレットを配り、明るく元気いっぱいの笑顔で町の魅力をアピールしました。

